

流産女性へ心のケア 自治体に相談相次ぐ 晩産化で増加、厚労省が手引作成



流産や死産の悲しみを抱える女性の心のケアに力を入れる自治体に、相談が相次いでいる。背景には、晩婚化が進んだ影響で流産・死産を繰り返して悩む人の増加が指摘されている。自治体や医療機関での支援を充実させようと、専門家で作る厚生労働省の研究班は今春、こうした女性らに寄り添うための手引を作成した。

残り912文字／全文1059文字

記事をもっと読むには・・・



流産・死産を経験した家族向けのパンフレットを持つ「不妊・不育ところの相談室」の助産師高尾緑さん＝7月15日、岡山市